

組織の災害対応力強化に向けた実践的な訓練・マニュアルの開発

減災復興政策研究科 紅谷 昇平



キーワード 危機管理、事業継続計画(BCP)、図上演習、実働訓練

研究概要

災害時に必要とされる業務(避難誘導や安否確認、被害調査等)は、日常の業務とは異なる内容であり、業務量も増大します。さらに、業務を行う環境は、建物、設備の被災やライフラインの停止により、不便で困難な状況となります。災害前から、防災計画や事業継続計画(BCP)、様々な演習・訓練等の対策の実施が大切です。本研究では、これまでの災害・危機における調査研究から得られた自治体や企業の災害対応や事前対策の教訓を元に、個々の組織の特徴・実態を踏まえた防災計画やマニュアル、訓練等の対策を、自治体や企業等と共同で開発・実践し、その効果を検証します。

アピールポイント

これまで多くの自治体や国、企業等と共に、災害対応の検証や研修・訓練などを行ってきました。最近では、大学院教育の一環として、2020年度には自治体の幹部職員向け実働訓練を自治体と共同で企画・実施し、2021年度には大阪市内の企業の事業継続計画・災害対応マニュアルの策定支援を行った実績があります。

応用分野

自治体や企業に関する研究を中心に行っていますが、その研究成果や防災計画・訓練の手法等は、医療機関や福祉施設など様々な組織の災害対応に関するマニュアルや防災計画、訓練等にも応用可能だと考えています。

